

世代間・地域間交流を通じた地域活性化

江津市さくらえ公民館連絡会

1 さくらえ公民館連絡会概要

桜江町は島根県のほぼ中央部の江津市にあり、中国一の大河「江の川」と最大の支流八戸川が合流する地点に位置しています。

本地域も高齢化と少子化が深刻な問題となりつつあり、人口 3,228 人に対し高齢化率 38.7%、2.5 人に 1 人が 65 歳以上のお年寄りとなっています。小学生 145 名、中学生 93 名と、地域には子供の遊ぶ姿や笑い声を耳にしない、寂しい桜江の現実があります。また、混住化も進み、「地域内のふれあいや結びつき」も希薄傾向にあります。

次世代の担い手の減少と高齢化は、地域活力の低下と地域の減衰を加速させていました。その下降線を引き上げる術の一つに、旧小学校区の公民館 5 館が協力し「さくらえ公民館連絡会」として合同事業を行っています。

2 さくらえプレーパーク

さくらえプレーパークは、「さくらえ公民館連絡会」の合同事業として 5 年前から開催しています。

「プレーパーク」とは、遊びの素材とそれを加工する道具を提供し、子ども達の好奇心や欲求を尊重し、子ども達のやりたいことを出来る限り実現させる為に大人達が協力する場です。

子ども達の遊びの自主性が薄れてきていると言われる中、様々な遊びの体験を通して子ども達は工夫することや仲間たちと協力することを身につけ、創り出す喜びややり遂げる喜びを体験してもらいます。何回も失敗や成功を繰り返すことで、子ども達は自分を知り多くの知恵をつけてもらう事、更に地域住民との世代を超えた交流を願って開催しています。



ターザンロープを使った遊び



木片を使った工作



簡易プールを使った水遊び



バームクーヘン作り

3 危険回避セミナー開催

子どもたちの自然体験活動は、環境教育や野外教育の領域の一つです。子どもたちの好奇心や冒険心をかき立てながらも、安全に配慮し子どもたちの可能性を引き出すためには、主催者自らの安全能力を高めることが求められます。

「プレーパーク」提唱者の香川大学教授清國祐二氏を招き、自然体験活動を開催する上で必要な安全指導や安全管理のポイントを、講義と演習を通して学びました。



講義の様子



グループ演習の様子



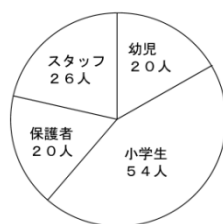
取組事業の紹介パネル

4 事業成果

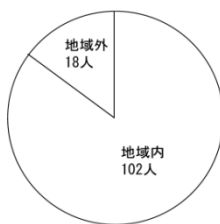
平成20年・21年度の参加者は、下記のグラフの通りです。

参加総数は120人程度ですが、平成21年度は地域外からの参加者が増加しています。

今後は地域外者の参加を積極的に募り、本事業の目的でもある“地域間交流を通じた地域活性化”を目指したいと考えています。



平成20年度参加者



平成21年度参加者

5 今後の取組

「学びとる場」の選択肢を増やす為に、自然の中での遊びや知識を感受性豊かな成長期に五感で感じてもらう場所として水田ビオトープ、田んぼや畑を整備します。

学びとる場の選択肢
「やぶさめの棚田」

